

地域が支える家庭教育学級 ～学校・P T A・地域・センターによる学社連携～

北九州市 前田市民センター【市民センター】 館長 小川 和明
花尾小学校P T A文教委員長 高橋 貴子

1. 事業名

北九州市立花尾小学校家庭教育学級

2. 事業の目的

すべての教育の出発点であり、子どもの健全な成長、人格の形成にとって重要な意義をもつ家庭教育について、市民センターとP T Aが連携の上、保護者等が相互学習の中で主体的に学ぶ機会を設けることにより、家庭及び地域の教育力向上を図ることを目的とする。

3. 事業の主体

市民センターの主催事業であるが、保護者が主体的に学ぶ場でもあるために、企画・運営は、主にP T Aの文教委員会が行っている。

4. 連携・協力機関・団体等

花尾小学校・P T A・前田まちづくり協議会・八幡東区役所コミュニティ支援課生涯学習係

5. 事業予算

- ・家庭教育学級：12,000円（小学校1学級につき）
- ・家庭教育学級（人権学習）16,000円（小学校1学級につき）

6. 実施にいたる経緯

5年前までは、市民センターとの関わりが少なく、小学校が独自で家庭教育学級を行っていた。市民センターとしては、地域や学校との連携、交流を更に活発にしたいと考え、P T A理事会（まち協会長・自治区会会長等も参加）や文教委員会に出向き、信頼関係を築くためにも話し合いに力をいれてきた。家庭教育学級「花尾 チャレンジ!!」で市民センターを利用したいという依頼があり、ここで小学校とのつながりを深め、市民センターと小学校（文教委員会）の連携で家庭教育学級を進めていけるのではないかと考えて協力した。このことがきっかけとなりお互いに積極的にかかわっていくようになったことで、現在の形に至っている。

7. プログラム作成の視点

文教委員会の中でアンケートを取り希望の多いものや今必要と思われる講座など検討、毎年学習テーマや回数を決めそれに即した内容を決定する。

今年度のテーマは「家庭教育力を高めていく」とした。

■企画会議の設置

初めに文教委員会・役員会で企画会議を持ち、その企画内容に対して市民センター館長や生涯学習推進コーディネーター、担当職員が助言やサポートを行なう。

■企画会議のメンバー

- ①PTAの学級担当委員会委員長・委員
- ②PTA役員
- ③小学校（校長先生・教頭）

◇生涯学習推進コーディネーターとは

地域の生涯学習を支援するボランティアとして、平成2年から配置が始まった。館長推薦により、その運営方針のもとに活動を行い、市民センターと地域をつなぐ大切な人材となっている。前田市民センターでは、主に生涯学習市民講座の企画や準備、司会などに関わってもらっている。（活動は1回4時間、月10回程度を原則とする。）

8. 事業の内容

| 学校名 | | 花尾小学校 | | | | |
|-------|----------------------------|--|----------|--------|--------------------------------|------|
| 学習テーマ | | 家庭教育力を高めていく | | | | |
| 回 | 実施月日 (曜日) 時間帯 | 学習内容 | 学習 方法 | 時 間 | 講師名 (職業・役職) | 参加者数 |
| 1 | 6/7 (火) 10:30~12:00 | 母親として家庭学習 への関わり方 | 講話 | 2 H | 花尾小学校校長 河村 信孝 | 53人 |
| 2 | 8/17 (水) 19:00~21:00 | 非行防止講演会 「子育ての落とし穴」 青少年の育成を 地域で考える (花尾中学校合同) ※地域住民も参加可 | 講話 | 2 H | 月刊生涯学習通信 「風の便り」編集長 三浦清一郎 | 83人 |
| 3 | 10/16 (日) 9:00~17:00 | 親子ふれあい研修 佐賀県立宇宙科学館 | 研修 | 8 H | 文教委員長 高橋 貴子 | 133人 |
| 4 | 1/26 (木) 10:00~12:00 | 女性のための 心と体のトリセツ | 講話 | 2 H | 助産師 松村美登里 | 27人 |

